



例 会 報 告
第 3 0 1 回 「総会&サスティナブル凧作り体験」
佐賀市 (2021.4.29)

令和3年度が始まりました。まずは総会行事として、前年度の例会報告及び決算報告、今年度の年間計画及び予算案を審議し、承認を得ることができました。年間計画は別紙をご覧ください。今年もドキドキ、ワクワクの例会を計画しています。昨年度に引き続きコロナ禍で、状況に応じては年間計画を変更することがありますのでご了承ください。また、変更等についてはホームページで案内します。なお、決算報告及び予算案については6ページをご覧ください。

総会後は、お待ちかね「サスティナブル凧作り体験」です。佐賀市環境政策課の山田良典先生を講師に、ジブリアニメで登場したメーヴェの形をイメージした凧づくりに挑戦しました。最近、「サスティナブル」や「SDGs」という言葉をよく耳にします。SDGsとは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、今回作る凧は「持続可能な凧」。環境に配慮してプラスチックを極力使わないようにしました。

まず、山田先生に用意していただいた型紙を障子紙に乗せ、凧の形を描いていきます。左右対称なので型紙は凧の半分の形。二つ折りにした障子紙の片方に型を取り、それをきれいに切り取りました。糸をつける分は強度を高めるために貼り合わせます。左右のバランスが大切なので、広げたときにきれいに左右対称になっているかがポイントでした。参加者は、山田先生に作り方を分かりやすく説明していただき、スムーズに作っていくことができました。次に、ヒノキの工作材で補強をしていきます。補強といっても凧が上がるためにはそりが必要となってきます。ヒノキ材にはそりを作ってくれる役目もあったのですね。また、今回のテーマは「サスティナブル」。補強にセロハンテープを使いたいところ、残った障子紙に糊をつけてヒノキ材を凧に貼り合わせていきました。

みんなが凧づくりを終えた頃、ずっと降り続けていた雨がやみました。外に出て凧あげに挑戦です。駐車場の水たまりを避けて駆けていくと凧が上がっていきました。風を受けて空高く上がる凧もありました。凧づくり大成功です。

近年、マイクロプラスチックによる海洋生物の被害状況などがニュースで取り上げられています。豊かな自然や私たちの暮らしがずっとずっと続いていくために、今私たちがすべきことは何か。凧づくりを通して学ぶことができました。今回、凧作りの準備から当日の指導まで頂いた山田良典先生に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(参加者25名)

参加者の感想から

しょうへい	総会に参加すると1年間の例会の内容を1番に知る事ができるので、とてもワクワクします。今年こそ全部例会に参加したいです。今日は、自然素材を使って凧作りをしました。高く飛ぶ為には左右の微妙なバランスが大切でした。紙飛行機も凧も同じ考え方で作られているようなので、オリジナルの凧を作って高く飛ばしたいです。
はなこ	今日の凧作りは楽しかったです。凧は、簡単に作れたけど、高く飛ばす事は難しかったです。あとは手直ししてもっと高く飛ばしたいです。



総会行事の様子



今年はどんな例会があるのかな



凧作りの講師、山田先生（右）



型紙に合わせて・・・



親子で協力して



ヒノキ材に糊をつける



見て！あがっているよ



風を受けて高く上がりました